

科 目 名		学年	
MOT特論: Management of Technology		2K	
教 員 名	未定		
単位	授業時間	科目区分	
2	100分×15回	選択	
授業概要		講義・後期	
授業の基本的な形態は文献レビューを目的としたリーディング・セミナーである。ただし、若干補足的な講義をする。イノベーションに関連する理論紹介書であるR.A. Burgelmanらの『技術とイノベーションの戦略的管理(Starategic Management of Technology Innovation)』を中心として関連文献を読む。毎回指定された報告者が文献の内容について簡単に報告したうえで、自分が学術論文の査読者に指定されたと仮定して論文内容の要約及び感想を発表する。			
到達目標		評価方法	
(1)イノベーションの関連論文について理解できる (2)ドミナント・デザインについて理解できる (3)プロダクトイノベーションとプロセスイノベーションについて理解できる		評価方法および配分は、①中間、期末試験(80%)、②自学自習によるレポート(20%)とする	
学習・教育目標	(C)③	JABEE基準1(2)	
		(d)-(1)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	授業紹介	授業の概要とやり方などを説明する。
	第2	技術と戦略の統合	企業プランニングに技術をどのように組み込むのか。(アラン・R・ファウフェルド)
	第3	技術と戦略の統合	企業のコア・コンピタンスを軸とした技術開発戦略とは?(C・K・ブラハッドら)
	第4	技術的進化	効果的なイノベーションのための管理基準(ジョージ・R・ホワイト)
	第5	技術的進化	産業イノベーションのパターン(ウィリアム・J・アバナシーら)
	第6	技術的進化	イノベーションのジレンマ(クレイトン・M・クリテンセン)
	第7	業界の状況	キャズムを超えて、その先に(ジェフリー・A・ムーア)
	第8	業界の状況	競合する技術:概観(W・ブライアン・アーサー)
	第9	組織的文脈	アーキテクチャー・イノベーション(レベッカ・M・ヘンダーソンら)
	第10	組織的文脈	戦略的不協和(ロバート・A・バーゲルマンら)
	第11	戦略的行動	戦略的意図(C・K・ブラハッドら)
	第12	戦略的行動	ベクトルとしての戦略と共進化的ロックインの慣性(ロバート・A・バーゲルマン)
	第13	新しい技術と新規顧客のニーズを結びつける	リード・ユーザー調査に関する覚書(ステファン・トムク)
	第14	新製品開発	「重量級」開発チームの編成と誘導(キム・B・クラーク)
第15	大企業におけるイノベーションの課題	「学習する組織」の構築(デイビッド・A・ガービン)	
自学自習の内容		レポートを課す。	
関連科目	技術経営論、MOT入門		
教科書	プリントの配布		
参考書	『技術とイノベーションの戦略的管理(Starategic Management of Technology Innovation)』		
授業評価・理解度	最終回到授業評価アンケートを行う。		
副担当教員			
備考	PowerPoint を併用して講義を行う。		